

地球を感じる写真集



「写真が語る地球激変
過去の地球、現在の地球、
そして未来の地球は……」
フレッド・ピアス／編・著



「地球動物記
Animals on Earth」
岩合光昭／著



「誰も見たことのない
ときめきの富士」
ロッキー田中／著

地球温暖化や気温の変化など、人間は地球にどれほど深刻な影響を与えてきたのか。世界各地の過去と現在を対比する 250 枚もの写真を掲載し、わずかな時間の間に起こった、その衝撃的な変化を簡潔に解説する。編著者は『ニュー・サイエンティスト』誌の環境コンサルタント。WWF、国連環境プログラムなどのためにもレポートや記事を書いている。

いのちを育む大自然を舞台に、野生動物の凝縮の一瞬を撮りつづける動物写真家・岩合光昭の写真集。900 枚の写真と 37 年におよぶフィールドノートで、250 種をこえる野生動物のたくましく生きる姿を紹介します。著者は 1950 年東京生まれ。父親である岩合徳光の撮影助手を経て、写真家になる。大自然に生きる野生動物の一瞬の輝きを撮り続けている。写真集に「おきて」「ホッキョクグマ」などがある。

富士山が呼んでくれた、出てくれた、見せてくれた。この日、この時間、この場所で逢うことができた幸せ…。限りなく懐かしく美しい、日本人の心のふるさと。富士山を巡る 62 シーンの夢物語を、写真と言葉でつづる。著者は福井県生まれ。写真家。「ときめきの富士アートサロン」を開設。富士写真家連盟特別顧問兼講師。平成 15 年に「天空に舞う」で文部科学大臣賞を受賞する。

6月の催しもの

とき	催しもの
8日(日) 11:00～、 14:00～	子どもビデオ劇場
14日(土) 14:00～	夏のおはなし会
14日(土) 11:00～	父の日のしおりづくり
15日(日) 11:00～	父の日のしおりづくり
21日(土) 10:00～ 16:00	夏のチャリティ古本市
22日(日) 10:00～ 16:00	夏のチャリティ古本市
毎週木曜日	あかちゃんクラブ ラッコルーム
7日、21日 28日(土)	「おはなし」と 「あそび」の広場

その他の写真集

- ◆「棚田を歩けば」 青柳健二／文・写真
- ◆「空撮世界の雲の風景」 山田圭一／写真・文
- ◆「small planet (スモールプラネット)
本城直季写真集」 本城直季／写真
- ◆「日本の幻の滝」 志水哲也／著
- ◆「天地水月光浴」 石川賢治／写真・文
- ◆「NAM I 梶井照陰写真集」 梶井照陰／写真

〔蔵書点検とコンピュータ更新による休館について〕
休館期間 6月30日(月)～7月11日(金)
これに伴い6月16日から29日までの間、資料の貸出期間を4週間とします。

俳句

「十葉」

ふそう俳句会

十葉の花咲く庭や健やけり
マロニエの花の香りよ遠き日よ
やわらかく握りてはずす掛り鮎
萩野 青歩
黒川 博章

川柳

扶桑川柳クラブ

新緑の香り運んでクラス会
リホームに母の匂のワンピース
猫二匹誰より確か腹時計
玉田 博子
猪野 和子
谷口たえこ

短歌

「淡墨桜」

ふそう短歌会

花終へし庭の馬酔木に新芽出て
あけぼの彩にさんと輝く
庭ごとに彩もかたちも異なる
あじさいみな欲しスパーへの道
千五百年の月日肅々こもらせて
淡墨桜の若葉かがよう
西村 静子
近藤寿美代
小野寺紀美代

詩吟

「望湖楼醉書」

蘇軾

黒雲墨を翻して未だ山を遮らず
白雨珠を跳らして乱れて船に入る
地を巻き風来りて忽ち吹き散す
望湖楼下水天の如し

〔意〕

黒い雲が墨を流したようにこちらへ広がってくるがその雲が山を覆い隠さないうちにもう大粒の雨が真珠の玉を跳ね散らすように船板を打つかと思つと、忽ち強風が大地を巻き上げるように雲や雨を吹き散らさんばかりに吹き、西湖の水は空の色と一つになつて青々と澄み渡るのだ。

山内 正風